飯島賢二の　『恐縮ですが…一言コラム』

特別寄稿～大震災から半年(2)

第 437 回　「東北連合」、直ぐにでもクーデターを決起せよ！！

2011.9.11

…コラム第４３６回から続く…

震災半年後の状況を見ると、政府の対応の遅さはそのまま、第二次、第三次被害を与えているのと同じであると断言する！
リーダー無き「驕れる大国」の悲劇が始まっている。

Die Geburt der Tragödie（1872 年『音楽の精神からの悲劇の誕生』ニーチェ作）である。

「辞めろ、辞めろ」の大合唱の後、やっとできた新政権。
できたその日から「粗捜（あらさが）し」を始めるマスコミ。その結果国民はどうしろといいたいのか？
健全なる報道精神と、大きなオピニオンリーダーとして国民を啓蒙し、建国の理想に向かって市民に勇気を与えるマスコミの使命があるとすれば、何事にも批判とデマを、検証すること無しに扇情的に流しまくる**日本のマスコミに、慣れすぎてしまった悲劇**。
たまには庶民や被災者に「希望」を与えて欲しい…とは、筋違いなのか。

その「出歯亀」マスコミの餌食に、見事にはまってしまう**「政治と政治家」の稚拙さ、教養の無さが、やはり大きな悲劇**である。
大臣病に舞い上がり、日本人の美学である配慮や労（いたわ）りをつい忘れ、本音で未熟極まりない「言葉」を発する、分不相応な大臣諸氏。一般庶民より品格が無いのに驚いてしまう。マスコミのみならず、柔能制剛に長けた高級官僚にバカにされるのは、至極あたりまえの話である。

その国家公務員、民主党政権の事業仕分けで中止する方向で凍結すると整理されたはずの朝霞の米軍基地跡地。東京ドーム４．５個分の広さを誇るこの土地に国家公務員宿舎の建設が始まる。
現在、国家公務員は 29 万人。これに対して、現在国家公務員宿舎は 22 万戸もある。どうみても供給過剰だろう。2013 年６月までに高さ４２メートル、地上１３階の宿舎が２棟建つ予定。
丸ごと東北から町の人たちを移住させるという目的だったらもしかしたら認める人もいるかもしれない。そのために税金を使うことも、おそらく認められるだろう。
仮に不動産屋に売ったとして、坪３０万円と仮定しても、２００億円ぐらいにはなる。
それなのにやっぱり、ここは「公務員宿舎」で決まりだそうだ。これは**公務員天国の悲劇**である。

それで、復興資金が足らないから「増税」だという。
外国は勝手にいうが、我国中小企業経営の実態を知っていたら、とても口に出せない話である。
被災者はこの半年間、耐えに耐えてきた。
目の前の惨事に毎日対処している地方公共団体、そもそも中央集権下の法律、規制、財政システムの中で、一体何ができるというのか！国ガ半年間、やるべきことをやらない悲劇に、地方公共団体は反乱すべきと思っている。
こんな連中に、日本の将来は任せられない。子供たちに計り知れない悲劇を押し付けることになる、まさに「やるべきことをやらない」**消極的犯罪者集団が、日本のリーダーに座っている悲劇**。
無節操にやるわけにいかないから首長が結束した**「東北連合」の樹立**、ここでガイドラインやビジネスプランを立案、実行する、その費用を後日、すべて国に請求する…一刻も早く、人間がすむ地域としての再興を、何が何でもしなければいけない。今こそ超法規、もう、国には任せられない。

やたら物騒なシュピレヒコール（Sprechchor）だが…
「東北連合」、直ぐにでもクーデターを決起せよ！！　と言っておきたい。